

令和5年度

肢体不自由教育部門

中学部

第3学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	国語			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付ける。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を養う。 (3) 読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができる。					
担当教員	所竜之介			年間授業時数	140 時間	
使用教科書	三省堂「現代の国語 3」					
主な指導の工夫	(1) プリントやICT機器を用いて、生徒の理解が深まるようにする。 (2) 漢字練習や語句調べは宿題とし、家庭学習の習慣が身に付くようにする。 (3) 読書活動を促すとともに、適時感想文を書き、自分の考えや思いを伝える技術を養う。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	詩の世界	10	◆ 詩の決まりを理解し、内容を理解する。 ◇ 詩の表現技法を学ぶ。			○
5	小説「握手」	15	◆ 登場人物の心理の変化を読み取る。 ◇ 心理を表す言葉を追い、感想文を書く。		○	
6	評論「間の文化」 俳句の世界	15	◆ 自分の興味のあるものを伝える力を付ける。 ◇ 順序、書き出し、文末表現を工夫して書く。 ◆ 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ◇ 語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読む。	○		
7	随想「希望」	10	◆ 感受性を広げる言葉に触れる。 ◇ 物事を多角的に捉える力を養う。		○	
9 10	論説「フロン規制の物語」 古文	13	◆ 文章に表れているものの見方や考え方を捉える。 ◇ 文章を批判的に読む。 ◆ 和歌の形式や表現の特徴を捉え、その効果について理解する。 ◇ 音読を大切にし、プリントで古文の決まりを学ぶ。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
11	漢文	15	◆ 漢文の決まりが分かる。 ◇ 訓読の仕方を確認する。	<input type="checkbox"/>		
12	文法（十品詞） 葉書きやカードを書く	12	◆ 十品詞が言えて、それぞれの役割が分かる。 ◇ 十品詞を暗記、単語を見分ける。 ◆ 季節に応じた葉書きが書ける。 ◇ 季節に応じた葉書きや手紙が書ける。			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1	小説「坊ちゃん」	15	◆ 主人公の心情の変化と場面の展開を捉える。 ◇ 人物の言動に着目し、心理を追う。 ◇ 文学史を学ぶ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2	読書感想文 文法（助詞・助動詞）	15	◆ 自分の感想を伝える技術と態度を養う。 ◇ おすすめ読書新聞を作成する。 ◆ 助詞と助動詞の種類と役割を学ぶ。 ◇ プリントで問題を解く。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
3	一年間の復習	10	◆ 1年間の学習を振り返る。 ◇ 古文・漢文の基礎的な文章を読む。 ◇ 漢字や語句の問題を解く。 ◇ 様々な文章問題を解く。			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	社会			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 日本の歴史の大きな流れや、経済・政治・国際社会の仕組みを理解する。 (2) 資料から多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断し、適切に表現する力を養う。 (3) 現代の社会的事象に対する関心を高め、よりよい社会を形成していくために自ら考えようとする態度を育てる。					
担当教員	小柳 伸哉			年間授業時数	140 時間	
使用教科書	東京書籍「新しい社会 歴史」、日本文教出版「新しいみんなの公民」					
主な指導の工夫	(1) 資料を大きく拡大するなど、活用しやすい工夫をして提示する。 (2) 視聴覚教材やICT機器を多く用いて、主体的な学びを促す。 (3) 教員との対話や発問により、多面的多角的な思考を深める。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	公民 導入なぜ「公民」を学ぶのか？	2	◆ 「公民」という言葉の概念について理解を深め、学習への意欲を高める。 ◇ [地理・歴史・公民の概念図] で自分の立ち位置を確認する。			○
	私から見える現代の日本社会	3	◆ 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解し、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付く。 ◇ 「私」との関係という視点から、少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代日本社会の特色に関心を高める。			○
	現代社会の文化と私たちの生活	3	◆ 現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、わが国の伝統と文化に関心をもつ。 ◇ 現代社会における文化の意義や影響を多面的・多角的に考察し、自らの考えを適切に表現する。また、日本の伝統と文化について、これまでの学習内容などをもとに考察する。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	現代社会をとらえる見方や考え方	4	◆ 見方や考え方の基礎として、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの視点があることを、具体的な社会生活と関連づけて理解する。 ◇ 事例の資料をもとに、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」について教員と話し合い、考えを深める。 ◇ 現代社会分野復習プリント		○	
5	日本国憲法の基本原則	12	◆ 日本国憲法の基本原則についての理解を深め、象徴としての天皇の地位と天皇の国事行為について理解する。 ◇ 日本国憲法の3つの基本的原則の内容や課題について文献を見て考察する。	○		
6	基本的人権の尊重	6	◆ 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、具体的な活動などを通して意欲的に追究し、法の意義や法を守る心について理解する。 ◇ 社会の変化による新たな人権問題や基本的人権にかかわる課題解決について、日本国憲法をもとに考察する。 ◇ 憲法人権分野復習プリント	○	○	
	民主政治のしくみ	6	◆ 民主政治の仕組みやマスメディアの影響力、考え方について理解し、主権者として政治参加する意義を理解する。 ◇ 民主主義の意義につき、多数決の原理や直接民主主義と間接民主主義の長所と短所などと関連付けながら考察する。	○		
	国民の代表機関としての国会	4	◆ 国会のしくみや役割、政党がもつ意義やはたらきについて正しく理解する。 ◇ 二院制のもつ意義や、衆議院、参議院の機能や特色について考察する。		○	
7	行政権をもつ内閣	4	◆ 内閣と国会とのかかわりや、内閣と行政機関のしくみやはたらきについて理解し、行政の課題について考える。 ◇ 議院内閣制について国民主権とのかかわりから考察する。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
7	裁判所と司法権	5	<p>◆ 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることを理解する。</p> <p>◇ 三審制のしくみや民事裁判と刑事裁判の違い、裁判所が他の権力から独立していることについて、資料などから読み取りまとめる。</p>			
9	地方自治と住民	12	<p>◆ 地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治のしくみについて理解し、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育む。</p> <p>◇ 地方自治が直接民主制の手法を導入している理由について、具体的な事例や制度に基づいて考察する。</p> <p>◇ 政治分野復習プリント</p>			
10	消費と経済	8	<p>◆ 身近な消費生活を通して、経済活動や産業構造を理解する。</p> <p>◇ 経済活動に関する事象を多角的に捉え、身近な事例から経済を考える。</p>			
	生産と労働	8	<p>◆ 流通・生産における企業の役割や働くことの意義と権利について理解する。</p> <p>◇ 生産のしくみや、わが国の経済のようす、労働者の権利について理解する。</p>			
11	市場経済と金融	12	<p>◆ 資本主義経済や市場経済における価格変動のしくみ、金融機関の役割、為替制度について理解する。</p> <p>◇ 国家や世界単位での経済活動のしくみを、統計資料などを活用し、図やグラフなどにまとめて理解する。</p>			
12	私たちの生活と財政	7	<p>◆ 市場経済における政府の役割や、租税・財政について理解する。</p> <p>◇ 日本の財政問題について、租税制度もふまえた上で、望ましい財政のあり方について考える。</p>			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	私たちの生活と福祉	7	<p>◆ 日本の社会保障制度の課題を財政面と少子高齢化の面から考え、将来のあり方について考える。</p> <p>◇ 日本の社会保障制度の現状と将来について、多角的な視点から考える。</p> <p>◇ 経済分野復習プリント</p>			
1 2 3	国家と国際社会	8	<p>◆ 世界平和の実現に向けた国際的な取り組みについて理解する。</p> <p>◇ 国際的な相互依存関係の深まりのなかで、国際社会における日本の役割や国際貢献のあり方について考える。</p>			
	持続可能な社会をつくるために	8	<p>◆ 地球環境、資源・エネルギー、人口・食料問題解決に関心を持ち、社会のあり方や自分の生き方について考える。</p> <p>◇ 「持続可能な開発」の意味や必要性について考え、自分の意見をまとめる。</p> <p>◇ 国際社会分野復習プリント</p>			
	3年間のまとめ	21	<p>◆ 3年間の社会科の総まとめをする。</p> <p>◇ 苦手な分野や興味・関心のある課題に主体的に取り組む。</p>			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年	
教科等名	数学			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、正しく処理する技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち道筋を立てて考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。 (3) 学習を振り返り、よりよく問題を解決しようとする態度を養う。					
担当教員	中村 保雄			年間授業時数	140 時間	
使用教科書	大日本図書 「数学の世界 3」					
主な指導の工夫	(1) 具体物や数直線を用いてイメージしながら考えられるようにする。 (2) 結果の正誤だけでなく、思考の過程を重視する。 (3) 教科書の問題に加えて問題集等も活用し、様々な問題に触れられるようにする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5 6	多項式 平方根	22 15	◆ 自然数や負の数について理解する。 ◆ 負の数が混ざった四則演算ができる。 ◇ 素因数分解 ◇ 正の数と負の数 ◇ 加法と減法 ◇ 乗法と除法 ◇ いろいろな計算			○
7	2次方程式	12	◆ 文字で表現する方法を理解する。 ◆ 文字と式を計算することができる。 ◇ 文字と式 ◇ 文字式の計算		○	
9	関数	17	◆ 方程式を解くことができる。 ◇ 1次方程式 ◇ 1次方程式の利用	○		○
10 11	相似と比	24	◆ 比例・反比例について理解する。 ◆ グラフを読むことや書くことができる。 ◇ 比例 ◇ 反比例 ◇ 比例と反比例の利用	○		○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	円	18	◆ 平面図形の性質を理解する。 ◆ 作図ができる。 ◇ 平面図形 ◇ 作図 ◇ 円とおうぎ形			
1 2	三平方の定理	15	◆ 空間図形の性質を理解する。 ◆ 立体の表面性と体積を求めることができる。 ◇ 空間図形 ◇ 立体の表面積と体積			
3	標本調査	12	◆ 資料の整理方法や特徴を理解し、活用することができる。 ◇ 資料の整理とその活用 ◇ 累積度数 ◇ ことがらの起こりやすさ			
	1年間のまとめ	5	◆ 1年間の学習内容の定着を図る。 ◇ 1年間のまとめ・復習			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	理科			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 自然の仕組みや現象への関心を育み、疑問やアイデアなどをもち、主体的に思考する。 (2) 自然の仕組みや現象への理解を深め、科学的に探究する能力を育てる。 (3) 人間と自然のかかわり方について自分の考えをもてるようになる。					
担当教員	柳堀 拓也			年間授業時数	140 時間	
使用教科書	大日本図書 新版「理科の世界3」					
主な指導の工夫	(1) 観察、観測、実験を通して、実際に体験しながら興味や関心を広め、理解を深められるようにする。 (2) 画像や文献の図版などを用いて、見識を広め、理解の一助とする。 (3) 教科書、復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	化学変化とイオン	16	◆ 電解液の仕組みを理解する。 ◆ イオンを理解する。 ◇ 水溶液とイオン、化学変化と電池			
5		16 12	◆ 酸・アルカリの性質を知る。 ◆ 中和と塩について理解する。 ◇ 酸、アルカリとイオン	○		
6	生命のつながり	16	◆ 細胞分裂と成長を関連付けて考える。 ◆ 有性、無性生殖の特徴を理解する。 ◇ 生物の生長と増え方			
7		16	◆ 遺伝の仕組み、規則性を理解する。 ◆ 遺伝子の働きを理解する。 ◇ 遺伝の規則性と遺伝子	○		
9	自然界のつながり	4	◆ 生物間のつながりを考える。 ◇ 生物同士のつながり			
		16	◆ 生物と自然環境との循環を理解する。 ◇ 自然界を循環する物質		○	
10	運動とエネルギー	12	◆ 力のつり合いを説明できる。 ◆ 力の合成・分解ができる。 ◇ 力のはたらき			
11			◆ 力と運動の変化の関係を理解する。 ◇ 物体の運動	○		

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12			◆ 力学的エネルギー保存を理解する。 ◆ エネルギーの利用方法を知る。 ◇ 仕事とエネルギー			○
1	地球と宇宙	12	◆ 地球の自転・公転を理解する。 ◇ 天体の1日の働き、1年の働き ◆ 太陽や惑星、月の特徴を理解する。 ◇ 月と惑星の運動	○		
2		12	◆ 太陽系の広がりを知る。 ◆ 宇宙の観察されている現象を知る。 ◇ 太陽系と銀河系			○
3	地球の明るい 未来のために	8	◆ 自然のめぐみと自然災害を学ぶ。 ◇ 自然環境と人間のかかわり ◆ 技術発展と環境への影響を理解する。 ◇ 暮らしを支える科学技術 ◆ 環境保全の重要性を理解する。 ◇ 大切なエネルギー資源			○
					○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	音楽			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。					
担当教員	早坂 あまね			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	教育出版「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学器楽1-3 音楽のおくりもの」					
主な指導の工夫	(1) 曲のイメージをつかみやすいよう、写真や映像を取り入れる。 (2) 個人練習やパート練習の時間を設けて主体的に活動できるように促す。 (3) 幅広いジャンルの音楽を鑑賞し、興味、関心を広げる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	合奏「私のお気に入り」	6	◆ 周囲とのリズムやタイミングを合わせて演奏する。 ◇ タイミングやリズムを意識しながら周囲と合わせる。 ◇ 譜面を見ながら楽器ごとに個人練習をする。	○		○
6 7	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	6	◆ 言葉のリズムやまとまりを意識して、旋律をつくる。 ◇ 七五調の短い歌詞をつくって、リズムをつける。 ◇ 言葉の抑揚を線で表し、音をあてはめる。 ◇ できた旋律を五線に書き写す。	○	○	○
9	ジャズを鑑賞しよう	4	◆ ジャズを鑑賞して、その特徴を感じ取る。 ◇ 「枯葉」「A列車で行こう」を鑑賞する。			○
10 11 12	歌唱	12	◆ 正しい発声で、情景をイメージしながら歌う。 ◇ よい姿勢で発声練習をする ◇ 歌詞の内容から情景を想像し、それぞれをどのように表現するか考えて歌		○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
			◇ 強弱を意識しながら、表現することができる			
1 2	和太鼓を演奏しよう	4	◆ 和太鼓の歴史や構造を知り、簡単な曲を演奏する。 ◇ 和太鼓の曲を鑑賞する。 ◇ 長胴太鼓、締太鼓、鉦にパート分けをして、合奏する。			○
3	卒業式の歌「すてきな友達」	3	◆ 音楽を通じて行事を意識する。 ◇ 歌詞の意味や情景を考える。 ◇ 変声期について知る。 ◇ 強弱記号や発想記号について知る。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	美術			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なもの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。					
担当教員	木村 夏生			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	日本文教出版「美術2・3上 学びの実感と広まり」 日本文教出版「美術2・3下 学びの探究と未来」					
主な指導の工夫	(1) 手の操作性に合わせた用具を工夫し、創作への意欲を高める。 (2) 紙、粘土など様々な素材を提示し、選べるようにする。 (3) 見本や制作の手順などを分かりやすく示し主体性を引き出す。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	作品鑑賞		◆ 世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化について学ぶ。 ◇ 美術動画や写真を鑑賞し、話し合ったりしながら理解を深める。 ◆ 友達の作品に興味をもち、作品の良い所について見付けることができる。 ◇ 友達や自分の完成した作品を鑑賞し、良い点について発表する。	○		
4 5 6	自画像	10	◆ 制作手順を理解し、絵の具を塗り重ねる順番を考える。絵の具を混色して表現したい色を作ることができる。 ◇ 透明なアクリルシートへ自分の顔写真を写し取る。裏面から絵の具を塗り重ね、立体感を表現する。		○	
7 9 10	ランプ作り	11	◆ 明かりが灯ることを考えて、ガラスやタイルの位置を考えることができる。 ◇ ガラスやタイルを土台に貼り付け、中から明かりを灯す。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
11 12 1	陶芸	10	<p>◆ おきがりこぼしの構造や素材の特徴について理解する。顔の描き方をよく考えて取り組む。</p> <p>◇ 石膏型を使用し、粘土を形作る。粘土に石や葉を押し付けて模様を作る。</p>	○		
2 3	マーブリング	4	<p>◆ 表現したい模様を予測しながら液を垂らす。</p> <p>◇ マーブリング液を専用液に垂らし、紙を付けて模様を定着させる。</p>			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 123 年	
教科等名	保健体育			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。					
担当教員	近藤 唯、小林 真			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	学研「中学保健体育」					
主な指導の工夫	(1) 各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 (2) 課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 (3) 学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	体づくり運動	3	◆ 体を動かす楽しさに触れ、友達と関わったり、動きを持続する能力を高める。 ◇ 体操、集団行動		○	
5	体育祭に向けて	3	◆ 運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合い、安全に留意する。			
6	（陸上競技） 保健：健康な生活と病気の予防	4	◇ 陸上競技 ◇ 運動と健康、食生活と健康、休養と健康	○		○
7	水泳	2	◆ 水に慣れ、自己の能力に適した課題をもって、技能を高める。			
		1	◇ 水慣れ、浮き身		○	
9		1	◇ 自由形			○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9	球技	3	◆ 自己の能力に適した課題をもって、個人やグループで協力しながら自己記録の向上や喜び、競争の楽しさが味わうことができるようになる。			
10		3	◇ ボール慣れ、基本姿勢、シュート		○	
11		3	保健：心身の機能の発達と心の健康 ◇ 生殖機能の成熟、異性の尊重と性情報への対処	○		
12	武道：剣道	3	◆ 伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。			
1		3	◇ 基本動作・面・小手			○
2	モルック	3	◆ 運動やスポーツが多様であることについて理解する。 ◇ 投球、試合		○	
3	保健：傷害の防止	2	◆ 傷害の防止について理解しているとともに、応急手当についての技能を身に付けることができる。 ◇ 交通事故の防止、自然災害に備えて、応急手当の意義と基本	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年	
教科等名	技術・家庭科			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 生活や将来の就労に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。					
担当教員	牧 理、並木 美由紀			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」					
主な指導の工夫	(1) 身近な作物を取り上げ、画像や計画例を示し、主体的に栽培計画を作成できるようにする。 (2) 実習に重点をおきながら、見本や資料を提示し、自分で考えながら製作や実習を進められるようにする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
5 6 7	技術科 ○身の回りにおける生物育成の技術	7	◆ 生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割に気付く。 ◇ 人間と生物育成の技術の関係についてまとめることができる。			
	技術科 ○生物育成の計画の立て方	7	◆ 設定した課題に応じて生物の育成計画を立てる。 ◇ 課題解決に応じて育成計画を作成することができる。	○		
9	技術科 ○生物育成の技術の学習を振り返ろう	3	◆ 生物育成の学習を振り返り、技術の見方・考え方について考える。 ◇ 生物育成の技術の持続可能な発展について理解を深めることができる。		○	
10	家庭科 ○衣生活と自立 ・製作の基礎技能 ・小物類の製作	2	◆ 製作に必要な基礎的な技能を知り、身に付ける。 ◇ 裁断、ミシン縫いの基礎を身に付ける。	○		
11		4	◆ 生活を豊かにするものを考え、計画を立て、安全に製作ができる。 ◇ 小物類を製作する。			○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	家庭科 ○食生活を豊かにする ために ・バランスのよい食事 ・献立作り	3	◆ 健康な食生活を送るために必要な知識 を身に付ける。 ◇ 何をどのくらい食べればよいかを知 り、バランスのよい食事がわかる。 ◇ 中学生の1日分の献立を考える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1 2 3	家庭科 ○食生活を豊かにする ために ・日常食の調理	9	◆ 日常食の調理に必要な知識と技能を身 に付ける。 ◇ 安全と衛生に気を付けて、日常食の調 理をすることができる。 ◇ 食品の調理上の性質を知り、適切に調 理することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年	
教科等名	外国語			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 (2) Listening、Speaking、Reading、Writingの技能の習得や向上を図る。 (3) 外国語やALTとの学習を通じて、外国の言語や文化に対する理解を深める。					
担当教員	相田 多恵			年間授業時数	140 時間	
使用教科書	東京書籍「NEW HORIZON 3」					
主な指導の工夫	(1) 生徒の実態や学習状況に応じて繰り返しの学習や復習を行う。 (2) ゲームを取り入れ、楽しく学べるようにする。 (3) デジタル教科書を活用する。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages	13	◆ これまでに学んだことを使って、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝えることができる。 ◇ 受け身(復習)			
5 6	Unit 1 Sports for Everyone	13	◆ これまでの経験について伝えることができる。 ◇ 現在完了形(経験用法、平叙文) ◆ 人の気持ちの変化について伝えたりすることができる。 ◇ SVOC(C=形容詞)			
	Let's Talk 1 はじめての出会い	2	◆ 初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。 ◇ Welcome to …. We've been looking forward to …			
7	Unit 2 Haiku in English	13	◆ 宿題などの状況について概要を捉えたり、即興で伝え合ったりすることができる。 ◇ 現在完了形(完了用法) ◆ ある場所に住んでいる期間などについて相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9 10	Unit 3 Animals on the Red List	15	◆ 構文を用いて自分の考えを話したり書いたりすることができる。 ◇ It is … (for+ (人など)) +to ◆ だれかにしてほしいことを伝えることができる。 ◇ want+ (人など) +to	○		○
	Let's Talk 2 町中での手助け	2	◆ 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ◇ Can I help you? Shall I …? Would you like me to …?	○		○
11 12	Unit 4 Be Prepared and Work Together	15	◆ 人物についてどんな様子なのかを具体的に説明することができる。 ◇ 現在分詞、過去分詞		○	○
1	A Legacy for Peace	15	◆ どのようにしたらよいかを説明するために、使い方ややり方について、伝えることができる。 ◇ 関係代名詞who、that、which	○	○	
	Let's Talk 3 食品の選択	2	◆ 相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。 ◇ I see your point、 but ….		○	○
2	Unit 6 Beyond Borders	15	◆ 現実とは異なる願い事や架空の話について、考えや気持ちを整理して伝えることができる。 ◇ 仮定法	○		○
3	1年間のまとめ	15	◆ 単語、文法のおさらいをし、定着を図る。 ◇ 1年間の学習事項の復習	○		
	英検対策	10	◆ 英検受験に向け、解き方や時間配分を身に付ける。 ◇ 英語検定の過去問	○	○	
	ALT 英語でのやり取りを中心とした学習	10	◆ コミュニケーションを取ろうとする態度を育成し、技能の向上を図る。 ◇ 教科書Let's talk		○	○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年	
教科等名	道徳			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 自分や他の人に対する理解を深め、考えや意見を自ら表現する。 (2) 自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。 (3) 集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。					
担当教員	梅原 諒、柳堀 拓也			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	「きみがいちばんひかるとき」 中学道徳1, 2, 3 光村図書					
主な指導の工夫	(1) 多角的に自己理解・他者理解ができるようにする。 (2) ICT機器を活用しながら、主体的に考える時間を大切にする。 (3) 総合的な学習の時間と連携し、実体験を伴って考えたり、話し合ったりする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	A[向上心、個性の伸長]	3	◆ 自分の興味や関心について考える。 ◇ 自己紹介 ◇ 他己紹介			
5 6	B[相互理解・寛容]	3	◆ お互いを認め合う心を育てる。 ◇ グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム			
7	A[真理の探究、創造]	3	◆ 答えがひとつではない問題について考える。 ◇ 自分なりの意見をもち、伝える			
9	C[遵法精神、公德心] あすを生きる1	3	◆ 法やさまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。 ◇ インターネット使用時のルールや著作権			
10	B[礼儀の心] あすを生きる1 「『愛情貯金』をはじめませんか」	4	◆ あいさつの意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。 ◇ 礼儀、マナー			
11	D[生命の尊さ] きみがいちばんひかるとき	3	◆ 生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
	1 「捨てられた悲しみ」		◇ 命の尊さ		○	○
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	3	◆ 困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。 ◇ グループ学習発表練習		○	○
1	C [国際理解、国際貢献]	4	◆ 国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。 ◇ S D G s		○	○
2	C [勤労]	4	◆ 働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。 ◇ 疑似仕事体験		○	○
3	B [思いやり、感謝]	3	◆ 多くの人によって支えられ、守られていることに気づき、感謝する態度を育て ◇ 1年間の自分を振り返る		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 2,3 年	
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (2) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。					
担当教員	梅原 諒、柳堀 拓也			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 体験活動を多く取り入れ、課題解決力を高める。 (2) 話し合う、調べる、まとめるなど生徒が主体的に活動する時間を十分に確保する。 (3) 自分の意見をもち、伝えあう場を設定する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
1 ・ 2 学期	進路学習	25	◆ 中学部卒業後の進路について考える。 ◇ 職業調べ ◇ 生活していくためにかかるお金について知る。 ◇ 目指す大人像	○	○	○
	自己紹介	2	◆ 友達のことを知る、自分を見つめる。 ◇ 自己紹介			○
	今年度の目標	2	◆ 個人・グループ目標を設定し、意識して生活する。 ◇ 目標設定		○	○
5 6	情報リテラシー学習	8	◆ インターネットの適切な使い方を身に付ける。 ◇ 情報リテラシー ◇ SNSの使い方	○	○	○
7 9 10	校外学習（事前学習）	10	◆ 校外学習についての見通しをもつ。 ◇ 国会議事堂についての調べ学習・発表 ◇ しおり作成		○	○
11	校外学習（事後学習）	6	◆ 校外学習の学習をまとめる。 ◇ パワーポイント資料作成、発表	○		○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	N I E 朝日新聞出前授業（事前学習）	5	◆ 地球の未来を考え、自分たちにできることを考える。 ◇ 新聞の読み方 ◇ SDGs について			
				○	○	○
1	N I E 朝日新聞出前授業（事後学習）	4	◆ 学んだことを自分事として捉え、自分の考えを文章でまとめる。 ◇ スピーチについて			
				○	○	○
2 3	進路学習	8	◆ 高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。 ◇ 高校、大学、職業についての調べ学習 ◇ 適性把握 ◇ 人生予想図作成			
				○	○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	特別活動			学習グループ		
ねらい	(1) 自分の役割を意識し、学習したことを発揮することができる。 (2) 集団の中で相手の気持ちを受け止めたり、自分の気持ちを自分なりの表現で伝えたりすることができる。 (3) 友達と協力し助け合い、人間関係を育み、集団生活の充実を図る。					
担当教員	牧理 柳堀拓也 相田多恵 磯部知史 近藤唯 並木美由紀			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真やDVDなど視覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 (2) 学習グループを超えてコミュニケーションをとれるようにする。 (3) 友達を意識して発表したり、考えたり、一緒にできる活動を取り上げる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	オリエンテーション	1	◆ 3年生の主な行事について知り、1年間の見通しをもつ。 ◇ 3年生の主な行事とその活動内容を知る。	○		
	新入生歓迎会	2	◆ 新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。 ◇ 活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。			○
5	卒業制作①	2	◆ 卒業制作として何を作るか話し合い、思い出を形にする。 ◇ 卒業制作の内容とデザインについて考え、制作する。		○	○
	体育祭	3	◆ 体育祭に見通しをもち、参加する。 ◇ 体育祭の競技種目を知り、お互いに励まし合い、練習する。			○
6	修学旅行について①	3	◆ 修学旅行について主な行程を知り、見通しをもつ。 ◇ スライド教材を見て、日程や行程について確認する。			
7				○		
7	1学期を振り返って	1	◆ 1学期を振り返り、お互いに頑張ったことを発表し合うことができる。 ◇ 1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。			○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9	2学期の予定	1	◆ 2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。 ◇ 2学期の主な行事予定を確認する。	○		
	修学旅行について②	4	◆ 修学旅行について各自の目標や係を決め主体的に参加する。 ◇ 係活動について事前準備をする。 ◇ 頑張ったことなどを発表する。		○	○
10	卒業制作②	2	◆ 友達と一緒に卒業制作を行い、思い出を形にする。 ◇ 卒業制作を行う。		○	○
11	墨東祭について	8	◆ 墨東祭の発表内容を協力して考え、日頃の学習の成果を発揮する。 ◇ 墨東祭の発表内容を協力して考える。 ◇ 発表の練習をする。 ◇ 小道具や背景などを作成する。		○	○
			◇ 墨東祭を振り返り、来年につなげる。		○	○
12	2学期を振り返って	1	◆ 2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いを意識して発表し合うことができる。 ◇ 2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		○	
1	3学期の予定	1	◆ 3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。 ◇ 3学期の主な行事予定を確認する。	○		
	高等部での生活について	2	◆ 卒業後の生活について見通しをもつ。 ◇ 高等部での生活について、写真等を見て知る。	○		
2	卒業に向けて	3	◆ 答辞、証書授与の練習を通じて、卒業への意識を高めることができる。 ◇ 答辞を考え、練習をする。		○	○
3	3年を振り返って	1	◆ 証書授与の練習をする。		○	
◆ 画像等を使って、中学部での生活を振り返ることができる。 ◇ 3年を振り返って、3年間頑張ったことを考え、発表する。				○		
※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度						

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	自立活動			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動を進んで行う。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力をつける。 (3) 障害による学習上、生活上の困難を改善する。					
担当教員	梅原 諒、柳堀 拓也			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 個々の課題に合わせた内容を行う。 (2) PT、ST、OTのアセスメントを参考にする。 (3) 自らストレッチや歩行練習などに取り組めるよう配慮する。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	自立活動		◆ 身体の取り組みや健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす。 ◇ ストレッチ ◇ 姿勢変換（臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から ◇ 歩行練習 ◇ 姿勢保持（座位、膝立ち、立位など） ◇ 手指の操作性を高める取り組み ◇ 視機能を高める取り組み			
					○	
				○	○	
				○		○
					○	○
						○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度